

議会だより そとがはま

第85号

令和8年6月定例会

令和8年8月6日発行

シリーズ「まちの頑張り人」⑦ P14

よだ ひろむ えり
依田啓夢さん・絵里さん

P 2 そとがはまの漁業の今 **New!**

P 4 副町長・教育長の抱負を聞く

P 6 町民の声を届ける（4議員が登壇）



今号からまーもんが
議会だよりを盛り上げるモン♡

どこにいるか探してほしいモン♡



新企画

けっぱるべし そとがはま

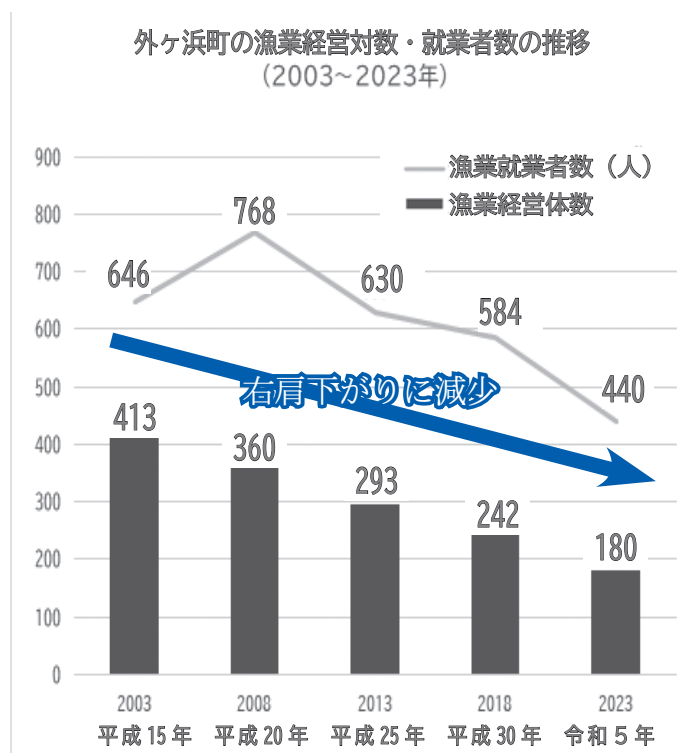
シリーズ第1弾

外ヶ浜町は、陸奥湾と津軽海峡に面した地形となっており、ホタテ養殖や、定置網、刺網等、各地区によって特色ある水揚げとなっています。しかし、社会の変化とともに、少子高齢化による担い手不足や作業従事者の減少、気候変動による高水温被害等、様々な課題を抱えている現状です。

今後、漁業を持続させるためには、新規就業者の確保や、生産性向上の推進が急務です。

シリーズ第1弾では、外ヶ浜町の漁業経営体数・就業者数の推移と、漁業従事者の思いに触れ、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

数字でみる外ヶ浜町の漁業の現状



外ヶ浜町の現状を見ると、漁業経営体数は、合併前(平成15年)と直近(令和5年)までの20年間で、右肩下がりの減少で推移しており、半数以下まで減少していることが分かります。

漁業就業者数は平成20年に一度増加に転ずるものの後は減少傾向にあり、合併前の20年間で約3分の2まで減少しています。漁獲量は変動が大きく平成17年と比較すると若干減少しています。

↑【出典】青森県 漁業センサス結果書 ※ 2003年は旧3町村の合計値です。

漁業に対する町の支援 (一部)

- ・ホタテを育てる助成
- ・残さ処理助成
- ・海砂、浚渫 (しゅんせつ) 助成 など

次の世代につなげる



ホタテ養殖の二代目として受け継いで38年になるが、この先どうなるかわからないというのが本音だ。最近



ホタテ養殖を続ける一番の不安は「海の環境変化」です。最近は水温が高くなることも多く、ホタテが思うよう

はホタテの育ちが悪く、小さくて数も伸びない。やっと水揚げしても値段が付かず、入札が流れることもあり、「こんなに苦労しても売れないのか」と思うとやりきれない気持ちになる。経費ばかりかかって収入も安定せず、生活の見通しも立てにくい。副業としていた刺網漁に今まで以上に本腰を入れていくが、こんな状況では若い人が努めたくても難しいと思う。

仲間も年々減っていて、この仕事を続けていけるか不安はあるが、息子と共に外ヶ浜のホタテを支えていきたい。

設備の維持や経営面での心配もあるが、外ヶ浜町のホタテを守り、次の世代につなげるように頑張りたい。

今の若い漁師は女性との出会いも少ないので出会いの機会も支援していただきたい。

漁業者親子の声を聞きました。議会の役割として、このような声を行政に届け、少しでも町民に還元できるような活動をしていきます。

聞き手 横山拓雄



6月定例会

登坂副町長

Q 副町長になった今の気持ちを書いてほしいモン♡

A このたび、議会の皆様のご同意をいただき、6月16日付で副町長を拝命いたしました。その責任の重さを改めて実感するとともに、身の引き締まる思いであります。これまで職員として町政に携わってまいりましたが、立場が変わった今は、より広い視点で町全体を見渡し、これまで培ってきた行政経験を生かしながら、山崎町長をしつかりと補佐するとともに、公平・公正な行政運営に努めてまいりたいと考えております。



のぼりさか みつはる
副町長 登坂 光春 氏

Q 抱負を聞くモン♡

A 当町は、人口減少や少子高齢化をはじめ、



むーもんが 聞くモン♡

ます。また、世界遺産大平山元遺跡の見学やガイドを実施する等、郷土愛を育む教育にも取り組んでまいります。

Q 町民へひとことお願いだモン♡

A 世界遺産があることは我が町にとって大きな財産です。この財産

を保存・整備・活用し、町の魅力発信のため、世界文化遺産室では、5月から10月までの第一日曜日にむーもんマルシェ（9月はむーもんフェスタ）の実施、特別展、遺跡のガイド事業等、様々な取り組みを行います。

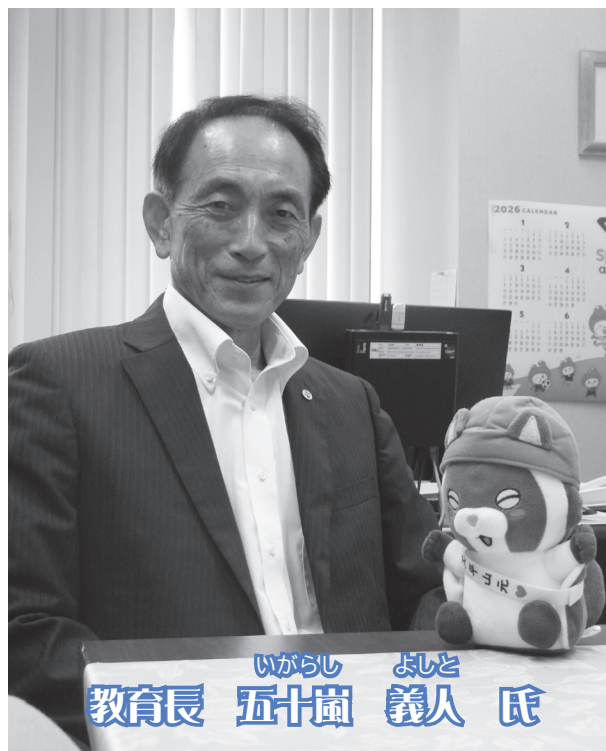
Q 抱負を聞くモン♡

A このたび、議会の皆様のご同意をいただき、6月16日付で副町長を拝命いたしました。その責任の重さを改めて実感するとともに、身の引き締まる思いであります。これまで職員として町政に携わってまいりましたが、立場が変わった今は、より広い視点で町全体を見渡し、これまで培ってきた行政経験を生かしながら、山崎町長をしつかりと補佐するとともに、公平・公正な行政運営に努めてまいりたいと考えております。

Q 抱負を聞くモン♡

A 町の特色ある教育活動として、現在ふるさと納税の寄付金を活用し、小学5年生を福島県天栄村にあるブリティッシュ・ヒルズ（英語研修施設）へ、中学2年生を海外研修（台湾）へ派遣しています。

今後、ALT（外国語指導助手）の活用等も含めて、グローバルな視点を持った人材育成を目指した取組を進めていき



いがらし よしと
教育長 五十嵐 義人 氏

議案審議 人事案件の同意

役 職	氏 名	任 期
外ヶ浜町副町長	登坂光春氏	令和8年6月16日から 令和12年6月15日まで
外ヶ浜町固定資産評価 審査委員会委員	沼田修身氏 銭谷忠雄氏 須々田正美氏	令和8年6月23日から 令和12年6月22日まで
外ヶ浜町教育長	五十嵐義人氏	令和8年9月1日から 令和11年8月31日まで
外ヶ浜町教育委員会委員	中野仁氏	令和8年6月18日から 令和12年6月17日まで
外ヶ浜町農業委員会委員	張山政博氏 工藤明氏 吉田和氏 石田毅氏 加藤晴樹氏 木村敦氏	令和8年7月20日から 令和12年7月19日まで

令和8年6月定例会は、6月8日から10日までの3日間の会期で開会し、補正予算案、人事案件など全20件を可決しました。

様々な課題に直面しています。これらは全国共通の課題ですが、私は決して悲観していません。むしろ、小さな町だからこそ、人と人とのつながりを生かした、きめ細かな行政が実現できると考えています。

五十嵐教育長

Q これまでを振り返ってほしいモン♡

A 学校教育においては、やはり少子化への対応として、学校再編を進めることが課題でした。そこで、学校再編検討委員会を立ち上げ、地区の皆様と協議していただく

Q 町民へひとことお願いだモン♡

A 町政運営は役場だけでなく、町民の皆様と共につくり上げていくものだと考えています。

私は旧平館小・中学校の卒業生として、この町で育ちました。だからこそ、地域の子どもたちがふるさとに誇りを持ち、未来に向かって自信を持って羽ばたいてくれることを心から願っています。また、子どもから高齢者まで、地域で暮らすすべての

の卒業生として、この町で育ちました。だからこそ、地域の子どもたちがふるさとに誇りを持ち、未来に向かって自信を持って羽ばたいてくれることを心から願っています。また、子どもから高齢者まで、地域で暮らすすべての

町民の声を届ける！

4人の議員が登壇

SDGsの17の目標と一般質問のタイトルに関連したロゴを掲載しています。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、将来の方針や事業の執行状況などについて、所信や疑問をたずねること、報告や説明を求めることです。

6月定例会では、4人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

7ページから10ページにかけて、質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせします。

荒馬と太刀振りの復活を

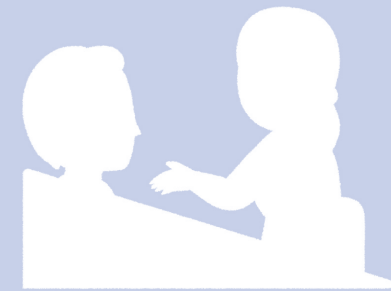
いしおか つとむ
石岡 勉 議員（7ページ）



町民にやさしい対応を

* 食の受け皿整備

ふくい よういち
福井 洋一 議員（8ページ）



補聴器購入に助成を

* 大雪の対策を
* ホタテ養殖の現状

あんどろ ひでひろ
安藤 英博 議員（9ページ）



防災対策の強化を

* RSウイルス感染症

やまぐち けいこ
山口 佳子 議員（10ページ）



石岡 勉議員

地域の再活性化を

問 三厩地区の荒馬と太刀振りは、近年祭りとしての活動は減少、縮

小している。地域の再活性化と若者の定住への可能性を見据え、町の行事・祭りとして復活させるべきと考えるが。

荒馬と太刀振りの復活を

答弁▼みんなが参加できる祭りに



答 町長 荒馬と太刀振りの2つの保存会があるが、会員数等の減少で活動に制限が出ている状態。地域の再活性化や若者の定住の可能性へのつながりは私もその通りと思う。

答 教育長 町内、地域の方々、また町内にゆかりのある方々も心待ちにしている祭り、行事と捉えている。

再質問 祭りの復活・活性化は、地域づくり・まちづくりだと思う。老若男女すべての町民が参加出来るイベントとして町として予算をつけるべきと考えるが。

答 町長 すべての町民が参加できる行事として何があるのか検討していく。

あおもり暮らし 青森県移住・交流ポータルサイト

移住するには？ 市町情報 移住支援情報 しごと情報 住まい

【外ヶ浜町】企画提案による委託型地域おこし協力隊を募集します！

青森県外ヶ浜町 委託型 地域おこし協力隊 募集

日本唯一、車が通れない国道「階段国道」

地域おこし協力隊募集ページ 青森県移住・交流ポータルサイトあおもり暮らしより

再質問 現在、我が町に隊の隊員は不在だと思いが、令和8年度は地域おこし協力隊に600万円

の予算が計上されている。町の祭りの復活を含めた活動の隊員の募集は考えられないか。

答 総務課長 テーマを絞った形の募集は可能。協力隊員だ

けが頑張るだけでは、隊員が町内に根付かないので、地域の方々の考え方などのマッチングを調査し、隊員も町内の方々も協力しあえる形にしたい。

答 町長 学校として教育的な意味も含めてやってきたので、今後も地域と学校がともに協力しあえる良い方向で進めていきたい。

一般質問



三厩荒馬保存会による荒馬

一般質問



業務量と人員配置

問 町民から、役場に行きたくない、手続きの時間が長い、説明が分

町民にやさしい対応を

答弁▼職員の教育をより強化

からないなどの声が寄せられている。各課の業務量と人員配置のバランスを分析したデータはあるのか。また、現行体制での事務改善の取り組みは。

答 町長 全庁的に業務量と人員配置のバランスを分析したデータはとっていない。慢性的な職員不足のため、今年度機構改革を行った。今後も業務量と必要なニーズを勘案した人員配置を進めていく。

再質問 役場の窓口で明るい挨拶をし、

町民をリラックスさせ、やさしい丁寧な対応を心がけていくことが必要であり、町長が先頭に立って職員に徹底していくべきではないか。答 町長 特別職や管理職が先なり、町民に粗相の無いよう職員教育をしている。さらに教育を強化すべきと考えている。

問 むつ湾フェリー新船

食の受け皿整備

問 「かけはし」が発着蟹田地区は外ヶ浜町の中心地区である。蟹田地区の食の不足、宴会場の欠如は新船を含めた観光資源の豊かさやミスマッチしている。滞在時間を延ばし、観光消費を町

内に落とすためにも食の受け皿の整備を。

答 町長 消費を町内に落とすには必要であり、商工会、商工業者や関係団体などと連携し、滞在時間の長期化を図る方法を検討していく。



新造船「かけはし」



助成制度を早く

問 高齢になると耳の障害で日常生活にも不便をしている方が増えている。補聴器購入に多額の負担となっているので町として補助する考えはないか。

答 町長 県内でも既に7割の自治体が補聴器の購入助成事業を実施しており、当町も必要性は非常に感じている。

再質問 難聴への対応は重要であり、家族との会話が困難であることなどの状況についてどれくらい把握しているのか。

補聴器購入に助成を

答弁▼来年度実施に向けて進める

答 福祉課長 身体障害者の人数は把握しているが、難聴者についてのデータは把握していない。

再質問 早く助成制度を実施するために動いてほしい。

答 町長 外ヶ浜町としても取り組みたい事例だということで、次年度事業実施に向けて検討を始めた。

大雪の対策を

問 今年は大雪で多くの市町村で被害があった。町の被害状況は。

答 町長 1月29日に大雪による災害救助法の適用となったことにより、各種支援を行った。相談件数は69件、高齢者や障害者世帯など除雪サービスで対応した件数は62件。



大雪で折れた蟹田一本松

ホタテ養殖の現状

問 陸奥湾ホタテ養殖の状況は。

答 町長 ホタテ半成貝については全域でへい死や成育不良が多く見られる。蟹田地区が92・3%、平館地区が87・5%の減少となっている。外ヶ浜漁協では陸奥湾が一丸となった取り組みを率先して行っているものと認識している。

再質問 今後の対策として町内空き地の雪捨て場として活用できないか。

答 町長 青森市では町内会の土地を無償で貸し付けた場合に翌年度の固定資産税の一部を減免する制度があることを把握しているが、関係各所検討が必要であり、個別対応ではなく、自治会、地区会の要望などありましたら検討をしていくものと考えている。

一般質問



耳が遠いと不便



防災対策の強化を
答弁▼実効性のある整備を進める



「逃げ遅れゼロ」を

問 住民一人ひとりが避難行動を事前に整理する「マイ・タイムライン」の普及を求める。

答 町長 防災マップによる周知や学校での防災教育を進めている。マイ・タイムラインについて、分かりやすい様式を参考に前に向きに検討する。

再質問 要配慮者の避難支援体制の整備、福祉避難所について、施設との連絡調整や受け入れ体制、役割分担を明確にするよう求める。

答 町長 要支援者名簿や個別避難計画の整備を進めている。福祉避難所は要配慮者の命を守る重要な施設であり、今後は施設との連携を強化し、実効性のある受け入れ体制の整備を進めていく。



一人ひとりの避難計画を

RSウイルス感染症

問 妊婦へのワクチン定期接種の周知方法は、また、高齢者へのワクチン接種助成を検討する考えはあるか。

答 町長 妊婦には母子手帳交付時に説明書を配布している。高齢者向けワクチンは任意接種であり、公費助成については国や近隣自治体の動向を踏まえ、調査・検討していく。

再質問 高齢者へのワクチン接種について、介護施設利用者などで、重症化リスクの高い方を対象とした助成の検討は。

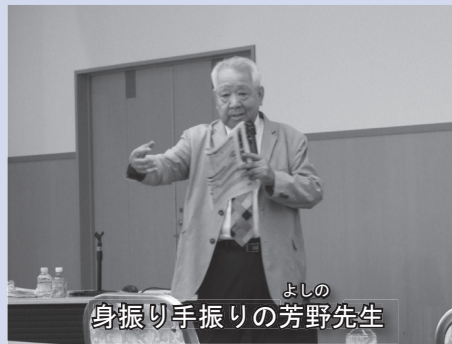
答 福祉課長 介護施設での感染リスクは認識している。対象者の範囲など課題はあるが、国・県の動向を踏まえ調査・研究を進め、医療機関とも連携しながら検討していく。



議会トピックス

研修会

より良い議会だよりに向けて
【5／20町村議会広報研修会】



よしの身振り手振りの芳野先生



講師の話に耳を傾ける

5月20日、青森県労働福祉会館において、町村議会広報研修会が開催され、当町議会からは広報特別委員会7名が参加しました。

この研修会は、一部の町村議会広報を講師（芳野政明氏）が事前に確認をし、良い点悪い点を評価・指摘することで広報作成スキルを向上させることを目的とした研修で、毎年開催されています。

研修会の内容を議会だよりそとがはまに活用し、より良い議会広報紙の作成に努めてまいります。

今年も全国コンクールに応募します！

今回第41回町村議会広報全国コンクールは、第84号（3月定例会：野口勝範さん表紙）で勝負します。結果は来年おしらせしますので楽しみに。

議会改革
特別委員会

議会改革の方向性を議論

【6／8 議会改革特別委員会】
【6／10・7／6 議員懇談会】

6月8日、当町議会議会改革特別委員会（戎修委員長）を開催し、前回決定した議員定数の削減についての決定事項の確認と、当町議会における改革の方向性として、各委員会活動の活性化、住民への見える化（広報・広聴）、追跡調査と政策提言などについて熱い議論が交わされました。

今後の予定として、議会先進地視察研修の検討、事前の勉強会などを実施します。今回は9月定例会初日に開催予定です。

6月10日及び7月6日、議員懇談会が行われ、外ヶ浜町議会議員団の視察研修先についての検討が行われ、議員報酬に関する先進地視察先として福島県川俣町を視察先に選定しました。その他、福島県内の施設の視察、県選出の国会議員に対しての表敬訪問を行う方向性を決定しました。



会議の様子



健康管理 セミナー

健闘も第4位。ですが・・・
パークゴルフでさわやかな汗を流す

7月3日、東津軽郡町村議会議長会主催（会長・鈴木進）による、東津軽郡町村議会議員健康管理セミナーが、平内町の夜越山スキー場で開催され、当町議会から10名の議員が参加しました。

当日は、血圧測定の後、ラジオ体操で体調を整え、パークゴルフ場まで歩いて移動します。9つのチームに分かれ、パークゴルフに挑戦。悪戦苦闘しながらも楽しく汗を流しました。結果は開催地の平内町議会が優勝し、当町議会は健闘も第4位でしたが、鈴木議長と三上副議長が見事ホールインワンを達成しました！



②ラジオ体操



④見事ホールインワン！



①まずは血圧測定



③チームごとに移動



⑤おつかれさまでした

令和8年度
東津軽郡町村議会議員健康管理セミナー

研修会

今後の政治展望は
【7/8 県下町村議会議員研修会】



講師 星 浩 氏



耳を傾ける議員

7月8日、ホテル青森において、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議会からは10名の議員が参加しました。

この研修会は、専門の講師をお招きして毎年開催されているもので、今回の講師は、NEWS 23（ATV）などのテレビ番組等のほか、幅広く活躍しているジャーナリスト・ニュースキャスターの星浩氏で、「今後の政局・政治展望」と題して講演しました。

現在の日本政治の将来像について、政策課題を中心とした説明のほか、メディアの課題にも触れた講演で、参加した議員は耳を傾けていました。

産業建設 常任委員会

海砂の堆積状況を確認

【6/10 常任委員会 7/2 現場視察】

6月10日、当町議会産業建設常任委員会（石岡勉委員長）を開催し、海砂の堆積状況等について担当課（産業観光課・建設課）より説明を受け、現場を視察することを決定しました。



会議の様子

7月2日、漁業者、外ヶ浜漁業協同組合、産業観光課、建設課同行の下、蟹田、平館地区の海岸における堆積の状況を視察しました。

当日は、塩越、磯山、舟岡、今津、野田の各地区を順に巡り、状況を確

認、漁業者と意見交換を行いました。

改善の必要性を委員会から議長へ、議長から町長へ報告、要望しました。

当委員会では、第一次産業に寄り添う外ヶ浜町に向けて活動が続けてまいります。



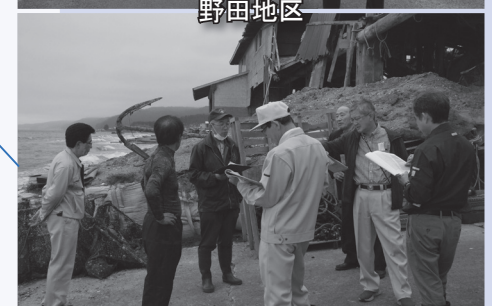
舟岡地区



塩越地区



野田地区



今津地区



磯山地区

GoogleMaps

シリーズ「まちの頑張り人」⑦

夢は外ヶ浜町で牧場経営

イノシシ農家依田夫妻（平舘在住）



名前をつけて愛情を注ぐ



外ヶ浜に牧場を

「心を開いて接すれば尻尾を振って喜んでくれる。生命を育てていくのが、農家の仕事だ。50年、85年、100年、長い時間がかかる。でも、その間に、多くの命が育ち、多くの人が笑顔になる。それが、私たちの夢。」

黒ニンニクなど、外ヶ浜町で肉質をよりよくして、夢をかなえる。依田夫妻、戸出身の依田さん、出身の依田さん、組長の依田さん、業の依田さん、頑張り屋の依田さん。夢の実現に向けて、頑張っています。（柳谷隆男）

応援する



議会を傍聴しませんか

9月定例会の予定

9月定例会は

- 4（金）開会、議案上程・説明
- 5（土）休会
- 6（日）休会
- 7（月）一般質問

決算特別委員会

8（火）決算特別委員会

9（水）決算特別委員会

10（木）議案審議、閉会

※定例会の日程は、都合により変更になる場合があります。

主な議会活動

■6月■

8（月）議会改革特別委員会

10（水）産業建設常任委員会

■7月■

2（木）産業建設常任委員会現場視察

3（金）東津軽郡町村議会議長会
議員健康管理セミナー

8（水）県下町村議会研修会

17（金）議会広報特別委員会

24（金）総務文教常任委員会現場視察

■8月■

27（木）議会運営委員会【予定】

28（金）全国町村議会議員広報研修会

お詫びと訂正

【第83号2ページ・まちの声】

お名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
誤 福井昭彦さん → 正 福井明彦さん

議会広報特別委員会

委員長：福井 洋一
副委員長：横山 拓雄
委員：山口 佳子
柳谷 隆男
浜谷 恭市
石岡 勉
三上 満

夏本番を迎えます。暑い中、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。また、ご意見やご要望は、お気軽に委員までご連絡ください。お待ちしております。

編集後記

